

## 変化を確信に ———— この春、仲間を増やそう！

### 大阪自治労連が組織・共済拡大運動交流集会



大阪自治労連は2月27日～28日に大阪市内で春の組織・共済拡大運動交流集会を開催。28単組から137人が参加しました。集会では秋の組織拡大月間で多くの仲間を組合に迎え入れた経験を交流。この春、多くの新入職員を組合に迎え入れるために奮闘しよう決意を固めました。

## 非常勤職員 産後休暇明けの再雇用が制度化へ

高槻市では、非常勤職員が4月1日の雇用更新時に産後休暇中であった場合でも、再度雇用されるように制度が改善されました。「職場で『再雇用されない』と言われた。なんとか継続して働きたい」と出産を控えた非常勤職員からの相談を受けた高槻市労組が、直ちに当局へ要求して実現したものです。

高槻市労組が要求して改善かちとる



大阪自治労連も加入する大阪公務共闘が、市民を対象に「くらしのなんでも行政相談」を2月20日に京橋で開催。年金、税金、雇用、福祉、介護、生活保護など多くの市民が相談に訪れました。大阪自治労連からも公務共闘や福祉部会の役員が相談に応じました。

大阪公務共闘がくらしのなんでも行政相談

## 泉州南部の地域医療を充実させよう！

### ——— 住民とともに学習決起集会

大阪府が泉州南部の公立4病院（市立貝塚病院、市立泉佐野病院、阪南市立病院、府立泉州救命救急センター）の経営を統合しようとしていることに対し、大阪自治労連堺阪南地区協議会と医療部会は2月14日に「泉州南部の地域医療を充実させる学習集会」を貝塚市内で開催。住民や議員をふくむ112人が参加しました。



市民アンケートの回答者1111人のうち、71.5%が「経営統合せず、今まで通りの運営」を望んでいます

# 労働者の使い捨ては絶対に許さない！



この3月末で、大阪市の非常勤保育士100人以上、茨木市の学童保育指導員18人が不当にも「雇い止め」にされようとしています。「労働者を使い捨てにするな！」「雇用と生活をまもれ！」と、大阪自治労連は大量雇い止めの撤回を求めて闘っています。全員の雇用を継続するために、すべての仲間のみなさんの支援をお願いします。

### 大阪市労組・市公労

## 今でも保育士は不足 許せない首切りだ！



大阪市役所前の緊急集会には、雨の中100人を超える参加者がありました（2月26日）

大阪市当局は今年になって、4月からの更新手続きを一方的に変更。新規申込者を含む「試験」を突然実施することで100人を超える非常勤保育士が「雇い止め」にされようとしています。大阪市労組と大阪市公労は「雇用更新の期待権を踏みこむ暴挙だ。障害児への対応をまともに行えば今でも100人以上の保育士が不足している。保育水準まで低下させる非常勤保育士の使い捨ては許さない！」と、市当局に対して、「雇い止め」の撤回を要求して闘っています。

### 茨木市職労

## 学童保育と「任期付」は相容れない！



雇い止めの撤回を求め、保護者と決起集会（3月10日）

茨木市当局は、学童保育指導員に3年で解雇できる「任期付短時間職員制度」の導入を強行して、新たな「採用試験」を実施。「試験は人物・経験本位」としながら、経験も実績もある現職18人の学童保育指導員を「不合格」とし、この3月末で雇い止めしようとしています。茨木市職労は、「学童保育には経験豊かな指導員が必要。3年で解雇する任期付制度とは相容れない！現職の指導員全員の雇用を継続せよ！」と保護者と共同して宣伝、申し入れなどの行動を繰り返しています。

大阪市

非常勤保育士100人以上 学童保育指導員18人

茨木市

の「雇い止め」を撤回し、全員の雇用継続を！

### 今月のキーワード

ディーセントワーク

ILO（国際労働機関）が21世紀の活動目標の中心に掲げるキーワード。「働きがいのある人間らしい仕事、人間らしいまともな働き方」という意味です。1999年、経済のグローバル化による競争が激化し、貧富の格差が拡大する中、ILO事務局長が提唱しました。2005年国連サミットでは各国政府の政策目標に盛り込むことを宣言しています。

### 今月のキーワード

内閣法制局

内閣の付属機関の一つで、閣議に付される法令案の立案や審査などを行います。政府の憲法解釈も担当。歴代政権のもとで「自衛隊合憲」など解釈改憲をすすめる一方、「海外での武力行使は憲法違反」としてきました。与党の国会法改正案は、法制局長の答弁禁止を盛り込んでおり、政治家の判断だけで解釈改憲が行われる危険があります。